

人気車種別
サーキット対応
プロジェクト

Vol. 1

憧れのE46 M3 チューニングが始まる!!

人気のスポーツクーペであるBMW M3。その中でも注目的となるのは年式と性能のバランスがよいE46型。中古相場も200万円台後半~300万円台後半と現実的になったいまその実力を知ることで購入意欲がグーンと盛り上がるか!? 期待の新連載、堂々発進!

ようやく手が届く価格帯になってきたE46 M3の、セミオートマチックモデルであるSMG-IIを素材に、そのストリートでの気持ちよさを保ちながらサーキット性能を高めていく魅力的なプロジェクトが始まった。M3といえば国産ユーザーにも気になる存在。本当に速いの? 外車は興味あるけど、壊れない? など思いながらも、一度はそのステアリングを握ってみたいと考えたことがあるはずだ。そんな疑問にレブでは、全6回の隔月企画として応えていく。

**国産車では得られない
魅力に溢れるM3登場!**



BMWの専門店「ガルフ・ストリーム」と木下みつひろ選手を軸に、ATS & ACROSS、ザックス、RAYSやBRIDEといった一流パーツメーカーとともにM3を仕上げていく



E46型BMW M3

シリーズ3代目となるE46型は2000年に本国登場。目玉は3.2ℓの直列6気筒DOHCエンジンで、リッター100馬力を超える343ps/7900rpmを発揮。駆動方式は当然FRで、トランスミッションは6MTの他に、2003年からセミATであるSMG-IIが登場。連載車はこれを搭載する。ちなみに新車価格は843万円と超高級だった。

プロジェクトの主導権を握るのは、ご存じセッティングマイスター木下みつひろ選手。そして車両は、BMWのチューニング&メンテナンスで定評のあるガルフ・ストリーム。ここに各メーカーを交えて、スペシャルパーツを生み出していく。

まず今回は、その実力を推し量るべく富士スピードウェイのスポーツ走行と、ワインディングでの実走チエックを行った。

スピードウェイの路面はいくくのセミウエットだったが、空気圧を2.3kg/cm²でスタートした木下選手はあっさり2分06秒39をマーク。いきなりその実力の高さを見せつけた。しかし木下選手いわく

「純正ブレーキは2周でダメ。パッドがフェードして、すぐにペダルが奥まで入ってしまう。クルマの動きも不安定。アクセルOFF時もブレーキリリース時も、すべての挙動が大きいかそれに合わせてシフトと操作する必要がある。かつ正確な荷重移動が必要で、その難しさを味わうところにM3を操る魅力もあんだけど、誰もが安心してコントロールできるという感じじゃないですね」とのことだった。また足の軟らかさとパワーの大きさから、すぐにリアがブレクする。そこでアクセルを戻すと、カウンターの当たっている方向にクルマが持っていける。

「そこはサスで直る部分と、LSDで直る部分とあるので、今後のお楽しみ(笑)。乗り心地を確保したうえで、安定感を増す方向にもって行きたいですね」と語ってくれた。

ちなみに注目のSMG-IIだが、シフトアップは反応速度も速く、思った回転でアップしてくれる。逆に



M3の基本体力をチェックする

3.2ℓで343psを発生する
「憧れのストレート6」の実力は高い!



富士のストレートで241km/hの最高速を叩き出したゴルフM3。これだけの速さをNAエンジンで発揮するM3の実力は、いまだバリバリの現役といえる。現在は吸排気系もすべてノーマルだから、今後のチューニング次第ではもっと速くなっていくだろう。水温や排気温度などの情報管理はBLITZの「R-VIT」で行い、オイルにはハワークラスタを使用。

BMWらしいハンドリングをさらに現代的に煮詰めていく

ストレート加速は素晴らしいM3だったが、高荷重が掛かるサーキットにおいて純正の足まわりとブレーキは少し役不足だった。今後は大きなロール&ピッチングをザックスの足まわりで抑え、ゴルフストリームのパッドで耐フェード性を解決していく予定。方向性は、ストリーの快適性とサーキットの楽しさを両立させる「王道チューニング」である。



駆動系はATS&ACROSS、足まわりはアネブル

そんな足まわりを手掛けるのはアネブル。ザックス・ダンパーを使いながらも30~40万円の価格帯を狙って、性能の高さと価格をバランスさせる予定。駆動系はクラッチ/機械式LSDともにATS&ACROSS。テストはしていないがSMG-IIでもMTと同じクラッチが装着可能だという。排気系に関しては現在未定。排気効率以外にサウンドも重要だ。



シフトダウンはスポーツモードもノーマルモードも少し遅れ気味。これも軽快なクラッチやフライホイールの投入で対応できるかも知れない。ストレートの最高速は241km/hと、3.2ℓのNAエンジンとは思えない加速。エンジンは最初ノーマルモードの8000rpmシフトで走り、その後は8200rpmまで引っ張ってくれるスポーツモードに切り替えた。ただ回るだけでなく、エンジンフィールも元気になる。対するワインディングは、ロール量の大きさから乗り心地に振っているかと思われたが、かなりわだちにステアリングを取られた。結果的にドライバビリティと乗り心地ももっと上を狙う必要が出てきたが「これもLSDで解決できそう」だという。速さと快適性と、カッコよさ。そして官能性という、国産車では得にくい魅力を持ったM3。どこまで磨き上げられるか、乞うご期待だ。



ワインディングでも実走チェック! 「LSDで直進安定性を出してみたい」

フロント225/40R18、リア255/40R18というサイズを2003年時点で履きこなしていたM3。当時は高性能モデルの宿命として大目に見られていた部分かもしれないが、現状ではステアリングがわだちに取りやすい。木下サンはこれをLSDで改善したいと考えている。ちなみにLSDはエンジンブレーキのかかり具合を考慮しながらマッチングを図ることが重要とのことだ。

BMWのポジションを合わせるのは至難の業! BRIDE×Gulf Streamのコラボでシートを作る!



ノーマルシートはステアリングのセンターと体のセンターがずれてしまっている。そんな状況に対してブリッドは専用のシートレールをつくる予定。またシートは、木下選手のリクエストを聞きながらベースモデルを決める。ブリッドのシートは昨年から40段の有段ギアノッチを採用したことで、手動では不可能な細かい調整ができるのと同時に、ガタツキが少なくなるメリットを備えている。



木下選手はブリッドの専用シートに「前座時にクッションが沈み込む時間をゆっくりにしてほしい」など細かいリクエストした



Gulf Stream代表
育藤元志

BMWの購入からチューニングまで! Gulf Stream (ゴルフ・ストリーム)

静岡県浜松市東区藤原町472-3
TEL053-423-0102
URL <http://www.gulfstream.co.jp/>
営業時間 10:00~20:00
定休日・月曜日

浜松市に拠るGulf StreamはBMWをどっぴり楽しめる専門ショップ。通常のメンテからエンジンのオーバーホール、マニアクな走りのパーツから車両販売まで幅広くBMWライフを応援してくれる。